

桐生繊維業界の実態

平成18年1月～12月

桐生市繊維振興協会

桐生繊維業界の概要

※ 桐生市繊維振興協会の加盟団体を対象に、平成18年1月～12月までの業界実態を調査し、作成しました。（なお、桐生商工会議所 繊維部会、桐生織伝統工芸士会、有限責任事業組合 起龍については、組合員重複により調査対象とせず。）
また、加盟団体の退会等により調査対象に変更が生じる為、前年対比は参考数字とさせて頂く事を予めご了承下さい。

1. 調査対象団体数	13 団体	
2. 産地収入		
(1) 生産高	218 億2,385 万円	
(2) 加工高	44 億4,020 万円	
(3) 販売高	103 億6,000 万円	
計	366 億2,405 万円	
退会団体の収入（推定：前年対比91%）	31 億2,037 万円	
計	397 億4,442 万円	（前年対比 91%）
3. 組合員数（事業所数）	376 事業所	
4. 総従業員数（家族従業員含む）	2,649 人	
5. 一事業所当たり従業員数	7 人	
6. 一事業所当たり生産加工販売高	9,740 万円	
7. 年度別産地収入高		
昭和62年 産地収入	804 億5,848 万円	（前年対比 94%）
昭和63年 産地収入	783 億8,548 万円	（前年対比 97%）
平成 元年 産地収入	841 億7,076 万円	（前年対比107%）
平成 2年 産地収入	931 億1,687 万円	（前年対比111%）
平成 3年 産地収入	908 億7,740 万円	（前年対比 98%）
平成 4年 産地収入	1,001 億1,232 万円	（前年対比110%）
平成 5年 産地収入	893 億2,611 万円	（前年対比 89%）
平成 6年 産地収入	845 億3,438 万円	（前年対比 95%）
平成 7年 産地収入	733 億6,672 万円	（前年対比 87%）
平成 8年 産地収入	678 億3,478 万円	（前年対比 92%）
平成 9年 産地収入	616 億9,017 万円	（前年対比 91%）
平成10年 産地収入	528 億4,669 万円	（前年対比 86%）
平成11年 産地収入	473 億6,503 万円	（前年対比 90%）
平成12年 産地収入	444 億7,222 万円	（前年対比 94%）
平成13年 産地収入	416 億8,724 万円	（前年対比 94%）
平成14年 産地収入	376 億2,047 万円	（前年対比 90%）
平成15年 産地収入	346 億0,005 万円	（前年対比 92%）
平成16年 産地収入	453 億8,571 万円	（前年対比131%）
平成17年 産地収入	436 億5,236 万円	（前年対比 96%）

1. 組合員数及び従業員数

団体名		組合員数 (事業所数)	従業員数				計 (人)	従業員 平均年齢 (歳)
			雇用従業員 (人)		家族従業員 (人)			
			男性	女性	男性	女性		
桐生織物協同組合	広幅協議会	85	217	271	85	102	675	54
	内地協議会	75	162	292	71	73	598	57
桐生染色協同組合		15	53	15	8	6	82	55
桐生繊維製品協同組合		25	151	347	31	27	556	47
桐生織物産地元売組合		4	9	5	0	2	16	50
桐生糸商組合		12	24	11	19	11	65	51
桐生刺繍商工業協同組合		45	86	130	73	70	359	56
東日本編レース工業組合		12	23	14	22	16	75	50
桐生意匠組合		14	3	4	4	7	18	51
桐生紋紙組合		15	8	1	18	13	40	57
東毛ジャカード刺繍協同組合		9	12	15	9	10	46	43
桐生織物商友会		14	19	5	9	9	42	55
桐生テキスタイル商業グループ		7	35	19	4	1	59	45
桐生和服裁縫組合		44	0	13	2	3	18	47
合計		376	802	1142	355	350	2649	

注

- (1) 平成 7年 1月13日 群馬県綿スフ織物工業組合 解散し退会。
- (2) 平成 7年 5月17日 桐生織伝統工芸士会 入会。
- (3) 平成10年 3月31日 両毛輸出織物整染工業組合 解散し退会。
平成10年 3月31日 両毛輸出スカーフ組合 解散し退会。
平成10年 3月31日 桐生織物商業組合 解散し退会。
- (4) 平成10年 4月 1日 桐生和服裁縫組合 入会。
- (5) 平成11年 3月31日 桐生金銀糸協同組合 解散し退会。
- (6) 平成12年 3月31日 桐生撚糸工業組合 解散し退会。
- (7) 平成13年 3月31日 桐生織物整経協同組合 解散し退会。
- (8) 平成18年11月28日 有限責任事業組合 起龍 入会。

2. 生産、加工高及び取引先区分（工業部門）

団体名		生産高 (万円)	加工高 (万円)	計 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
						県内	県外
桐生織物協同組合	広幅協議会	498,291	54,290	552,581	101	0	100
	内地協議会	343,343	-	343,343	95	0	100
桐生染色協同組合		-	70,030	70,030	98	55	45
桐生繊維製品協同組合		1,136,000	263,000	1,399,000	80	10	90
桐生刺繍商工業協同組合		46,500	50,000	96,500	110	80	20
東日本編レース工業組合		101,550	-	101,550	95	64	36
桐生意匠組合		8,323	-	8,323	90	88	12
桐生紋紙組合		9,400	-	9,400	90	90	10
東毛ジャカード刺繍協同組合		38,978	-	38,978	95	2	98
桐生和服裁縫組合		-	6,700	6,700	94	70	30
合 計		2,182,385	444,020	2,626,405	88	13	87

3. 販売高及び取引先区分（商業部門）

団体名	販売高 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
			県内	県外
桐生織物産地元売組合	100,000	100	10	90
桐生糸商組合	561,000	94	69	31
桐生織物商友会	84,920	243	10	90
桐生テキスタイル商業グループ	290,080	95	1	99
合 計	1,036,000	100	39	61

注

- (1) 平成16年度調査より、桐生繊維製品協同組合及び桐生テキスタイル商業グループの調査対象企業に変更あり。
(2) 平成18年度調査より、桐生織物商友会の調査対象企業に変更あり。

4. 内需向、輸出向区分

団体名		内需向		輸出向		計 (万円)
		金額 (万円)	割合 (%)	金額 (万円)	割合 (%)	
桐生織物協同組合	広幅協議会	495,581	90	57,000	10	552,581
	内地協議会	343,343	100	-	-	343,343
桐生染色協同組合		68,602	98	1,428	2	70,030
桐生繊維製品協同組合		1,399,000	100	-	-	1,399,000
桐生織物産地元売組合		100,000	100			100,000
桐生糸商組合		561,000	100			561,000
桐生刺繍商工業協同組合		96,500	100			96,500
東日本編レース工業組合		99,519	98	2,031	2	101,550
桐生意匠組合		8,323	100			8,323
桐生紋紙組合		9,212	98	188	2	9,400
東毛ジャカード刺繍協同組合		38,978	100			38,978
桐生織物商友会		84,920	100			84,920
桐生テキスタイル商業グループ		287,180	99	2,900	1	290,080
桐生和服裁縫組合		6,700	100			6,700
合計		3,598,858	98	63,547	2	3,662,405

5. 各団体の取扱品目

団体名	品 目				
	割 合 (%)				
桐生織物協同組合（広幅協議会）	服地	インテリア・ 資材	ネクタイ	その他	
	60	24	11	5	
桐生織物協同組合（内地協議会）	帯地	広幅生地	服飾品	着尺	
	68	14	12	6	
桐生染色協同組合	合織	レーヨン・アセテート・ キュプラ	綿・ウール等	絹	
	60	26	6	8	
桐生繊維製品協同組合	ブラウス	ニット・ カットソー	スーツ	ジャケット	その他
	41	50	4	3	2

団体名	品 目				
	割 合 (%)				
桐生織物産地元売組合	帯地	二次製品	着尺	服飾工芸	その他
	65	10	5	10	10
桐生糸商組合	化合織	綿・スフ	絹・その他		
	86	9	5		
桐生刺繍商工業協同組合	婚礼衣裳	婚礼加工	プラス・ニット加工	ハンカチーフ加工	雑貨
	30	20	16	15	19
東日本編レース工業組合	インテリア	衣料	資材		
	72	15	13		
桐生意匠組合	金襴	インテリア	洋反	帯	その他 (輸出含む)
	33	28	24	14	1
桐生紋紙組合	紋紙	エンドレス ペーパー	フロッピー (電子ジャカード、ダイレクトジャカード)		
	30	45	25		
東毛ジャカード刺繍協同組合	ワッペン	Tシャツ	ワッペン刺繍	トレーナー	その他
	39	30	13	4	14
桐生織物商友会	帯	二次製品	着尺	和装小物	その他
	50	20	1	25	4
桐生テキスタイル商業グループ	服地	ニット関係 (丸編、ラッセル、トリコット)		その他	
	60	39		1	
桐生和服裁縫組合	きもの全般	帯	長襦袢	コート・羽織	
	60	5	30	5	

6. 生産加工部門の現有設備状況

団体名	設備名	数量(台)
桐生織物協同組合(広幅協議会)	普通織機	778
	自動織機(片レピア含)	250
	超自動織機(レピア)	408
	計	1436
桐生織物協同組合(内地協議会)	広幅織機	70
	並幅織機	764
	小幅織機	163
	自動・レピア織機	206
	計	1203
桐生染色協同組合	常圧噴射式染色機	68
	高圧噴射式染色機	19
	汎用染色機	20
	チーズ及びケーキ染色機	35
	計	142
桐生繊維製品協同組合	縫製マシン	476
	プレス	25
	裁断機	40
	その他	22
	計	563
桐生刺繍商工業協同組合	横振マシン	50
	多頭式マシン	370
	計	420
東日本編レース工業組合	ジャカード落下板付きラッセル機	28
	ジャカード落下板付きコンピューター機	7
	チェーンラッセル機	50
	チェーンラッセルコンピューター機	8
	計	93
桐生意匠組合	デザインシステム	32
	拡大機	4
	コピー機	14
	計	50
桐生紋紙組合	デザインシステム	25
	カードパンチ	15
	横彫カットエンドレス	20
	ワンパンチ	8
	計	68
東毛ジャカード刺繍協同組合	コンピューターマシン	40
	プレス	10
	本縫いマシン及びその他の機械	37
	プリント用製版	4
	自動プリント機	1
	計	92

7. 最近の推移（H18年10月～H19年2月）

団体名	受注・引合の状況				販売（加工）単価の状況			
	増	変わらず	下降	前年対比 （%）	増	変わらず	下降	前年対比 （%）
桐生織物協同組合		○		100		○		100
桐生染色協同組合		○		100		○		100
桐生繊維製品協同組合			○	90		○		100
桐生織物産地元売組合	○			110			○	90
桐生糸商組合			○	95			○	95
桐生刺繍商工業協同組合		○		100		○		100
東日本編レース工業組合			○	98			○	98
桐生意匠組合			○	90			○	90
桐生紋紙組合			○	90		○		100
東毛ジャカード刺繍協同組合	○			103		○		100
桐生織物商友会			○	90			○	90
桐生テキスタイル商業グループ			○	85	○			105
桐生和服裁縫組合			○	90			○	90
合計	2	3	8		1	6	6	

8. 商品 消費者ニーズの変化について、平成18年(1月～12月)の状況、事業概要、今後の課題

桐生織物協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・洋装に関しては、国内生産にこだわった高級感のある製品に注目が集まっており、今までに加えて、より付加価値の高い物づくりが求められている。和装に関しては、過剰与信の問題等により市場が不安定になり、消費者の混迷も続いているため、安心・信頼を与えることのできる製品が求められている。

平成18年の状況、事業概要

- ・洋装、和装とともに新製品開発並びに需用開拓を事業の柱に、新たな商品の提案と販路の拡大を図った。洋装は厳しい環境下ながら、前年同様な生産状況で健闘したが、和装に関しては、市場の不安定感が強く影響し、以前にも増して厳しい生産状況であった。

今後の課題

- ・消費者の生活スタイルの変化、市場の混乱、関連行程業者の減少、労働力の高齢化、安価な海外製品の流入など、当業界が抱える課題は少なくない。

桐生染色協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・今年も後染品が主力、先染めは厳しい一年であった。

平成18年の状況、事業概要

- ・燃料、染料および助剤も高値安定、加工単価の一部引き上げもあったが、収益は圧迫、ニット用糸染めも低調に推移し加工数量全体が減少傾向。平成8年12月現在で組合員数31、従業員数260余名であったが、この10年で組合員数50%、従業員数32%に減少、また和装小売業者の倒産もあり一部企業に影響があった模様。

今後の課題

- ・後継者難から一部を除き、設備の更新も行われず、手づまり状況。TPS、地域ブランドへの参加等、商品価値を高める努力が必要。

桐生織物産地元売組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・消費者ローン会社の経営姿勢の改善により、呉服などの高級品販売に対し、ローンが組みづらく苦戦している。若い人の着物に対する憧れはまだ多い。

平成18年の状況、事業概要

- ・大型呉服チェーンの「あぜくら」が1月に、「たけうちグループ」が9月に倒産したことにより、呉服に対する環境は厳しい。東京、京都等にある集散地問屋、商社が上記2社に対して大口の債権者となったため状況はきわめて悪い。

今後の課題

- ・浴衣、合織着物、合織布等、若い人が楽しく安価で着られるものの需用が多い。

桐生刺繍商工業協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・二次加工としての刺繍、染等の複合へ進んでいる。

今後の課題

- ・複合仕入

東日本編レース工業組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・中国製品より品質は良いが単価で負けている為に、消費者からの要求に対応が出来ていない。しかし、消費者は安物を購入しない。高品質で格安品ならば購入するが、物は日本製品が中心。

平成18年の状況、事業概要

- ・カーテン関係は、安価な中国製品が依然、台頭している。ブラインド関係は、ロールからタテ型が多くなりつつある。高級品はヨーロッパから多く輸入されているが、国内でも開発が進んできている。

今後の課題

- ・カーテン関係は、中国で真似の出来ない、世界市場で販売出来る商品の企業開発が必要であると各社が考えるようになり、開発試作を行っている。ブラインド関係も同様に考えていけば見通しは明るいと考える。

桐生意匠組合

平成18年の状況、事業概要

- ・受注減少で厳しい状況にある。

今後の課題

- ・受注ではあるが、織物デザインの付加価値を高め、個性的な商品開発や、織物に限らず新分野の開拓等、各自一層の努力が必要と思われる。

桐生紋紙組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・紋紙用板紙の値上がり率15%

桐生織物商友会

商品 消費者ニーズの変化について

- ・消費者の見る目が高くなり、低価格だけの商品では動きが鈍くなっている。単価はもちろん安いほうが良いが、商品は価格以上の柄、形等、より良いセンスが求められるようになってきている。また多少ではあるが、物によって高級品も一部動きが出てきている。

平成18年の状況、事業概要

・和製製品への不信感などにより、動きが鈍くなった。また、夏の商品（ゆかた等）が天候不順等、様々な影響により低迷し、秋～冬の動きなどは夏以上に動きが鈍かった。しかし、通販やインターネット販売等など、特にネット販売用などの問い合わせは増えてきている。

今後の課題

- ・販売ルートの変化や、小ロット多品種などに対応していく必要がある。特にインターネット販売は拡大が見込まれるため、価格やオリジナル性がより一層求められる。また、和柄調の小物は人気があるが、純和製商品は和装離れが進んでいるため、和装を身近な

物、魅力有る物として提案する商品作りなど必要であろう。

桐生テキスタイル商業グループ

商品 消費者ニーズの変化について

- ・中国を中心とする海外生産の低価格商品と感性の高い高級品を求める、いわゆる消費者の2極化が続いている。そして、数年前から消費者は安物を購入しても満足感を得られず、高価格だが上質感のある差別化されたものをデパートや専門店に求めており、桐生産地の商品の要求は確実に増えている。

平成18年の状況、事業概要

- ・ニットを中心に生地をリスクし、製品のパターンを同時に提案し、中国生産によるクイックデリバリーで納めるシステムを構築して実績を上げている問屋がある一方で、桐生産地が対象としている一般の問屋は、そうしたシステムを導入することができず弱体化しつつあり、受注生産の桐生産地にとっては将来的な課題を課せられている。桐生産地の現状は、マイクロタフタや特殊スカートなどの売れ筋商品と売れない商品がはっきりしており、顧客の要求は多種多様で厳しい小ロット対応を強いられている。特に、最近になってマイクロタフタは他産地の攻勢により減少傾向にあり、全体的に商況は停滞気味である。しかも、原油高騰による原糸高や染色等の加工賃高により、拡販が出来ない上に利益が圧迫されて厳しい一年となった。

今後の課題

- ・世界で認められるような高技術、高感度の商品を生み出すことは永遠のテーマである。企画力、高技術、クイックデリバリーと課題は多いが、産地全体のレベルアップが発展のための必要条件である。しかし現在、染色・整理関係のトラブルが多発しており、顧客からの苦情が多く、競争の激しい時代に大きな課題を残している。一方、桐生産地の商品は、デパート、専門店から必要とされており、日本のマーケットの中で健闘している産地であることは事実で、今後は更に、差別化された感性の高い商品を開発していくことが急務である。

桐生和服裁縫組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・呉服の過量販売問題の一方で、若い人達を中心に幅広い世代が、きものを楽しむようになってきている様に見受けられる。

平成18年の状況、事業概要

- ・呉服過量販売による大手小売業の破綻の影響で、呉服業界全体のイメージダウンが続き、売上低迷により、きもの仕立て量の減少、加工料のダウンと悪循環が当分続きそうな状態です。

今後の課題

- ・組合員の高齢化により会員の減少が見られるが、それ以上に海外縫製の仕事量確保の動きが活発化しており、この対策として今まで以上の技術力の向上と短納期の仕事を受け入れる体制を作ることが必要になってきている。そして、ユーザーと直接向き合い、顔の見えるきもの造りを行い、和裁士の技術を認識して貰える運動を組合がリードしてゆくことが必要と考えている。

桐生市繊維振興協会 加盟団体名簿

(順不同)

団体名	代表者名	所在地	電話 (0277)
桐生織物協同組合	柿 沼 洋 一	桐生市永楽町5-1	43-2511
桐生染色協同組合	塚 本 祐 平	みどり市笠懸町阿左美470-19	40-5152
桐生商工会議所 繊維部会	木 村 俊 一	桐生市錦町3-1-15	45-1201
桐生繊維製品協同組合	大 川 泰 正	桐生市広沢町2-3368 大丸縫製(株)内	52-6061
桐生織物産地元売組合	木 村 俊 一	桐生市相生町2-230-1 (株)小野木商店 内	53-5131
桐生糸商組合	佐 藤 剛 司	桐生市巴町2-1832 佐藤(株)内	44-3135
桐生刺繍商工業協同組合	下 山 勝	桐生市永楽町6-6	22-7919
東日本編レース工業組合	中 野 隆 雄	桐生市永楽町6-6	22-3847
桐生意匠組合	大 澤 純 一	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
桐生紋紙組合	高 松 靖 郎	桐生市宮前町1-6-60 (有)高松紋切所 内	22-4380
東毛ジャカード刺繍協同組合	西 村 千 春	桐生市新宿3-7-34	43-1166
桐生織物商友会	和 田 貞 之	桐生市川内町1-98-5 (株)ワダミツ内	65-6188
桐生テキスタイル商業グループ	阿 部 高 久	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
桐生織伝統工芸士会	江 原 毅	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
桐生和服裁縫組合	山 本 文 江	桐生市巴町2-1810-17	43-2244
有限責任事業組合 起龍	丸 山 裕	桐生市本町6-372	45-0033

事務局 財団法人桐生地域地場産業振興センター内

〒376-0024 桐生市織姫町2-5

電 話 (0277) 46-1011

FAX (0277) 40-1300